

近隣センター移転計画対策委員会 会議録

近隣センター移転計画対策委員会

委員長 小川浩一

【日時】 2018 年 10 月 30 日（火） 19 : 00 ~ 20 : 00

【場所】 東町会館 1 階集会室

【出席者】 委員長：小川 副委員長：清水 委員：勝久、太田、山本、西田
市千里ニュータウン再生推進課 岩崎、坪井

【協議事項】

今年度初めての委員会につき、簡単な自己紹介の後、委員長に小川氏、副委員長に清水氏を選任しました。

○再開発事業の状況

- ・大阪府営住宅の解体工事で、予期していなかったアスベストが発見されたため、解体工事が予定より伸びることになった。
- ・解体工事が終わった後に再開発の工事が可能となるため、解体工事が伸びれば、再開発のスケジュールも伸びてしまうことになる。
- ・その他諸々の要因で、当初予定していた工程よりも遅れが出てきている。
- ・いずれにしても、現在は、工程の精査中なので、整理でき次第お伝えをする。

以上の様に豊中市より、報告・説明がありました。

○地区会館棟に含まれる市施設について

- ・市施設（約 170 m²）が今まで検討中で来ていたが、0 ~ 2 歳時を対象とした保育施設に決まったとの報告が豊中市よりありました。

この件に関し委員より、市立東丘こども園との関係はどう考えるのか？との質問がありました。豊中市より新施設発足時から両者が連携、協働出来るような環境作りを検討するとの見解が示され、委員会としても地域全体の事として捉え、両者・市と連携して関係構築、環境作りを進めていく事で合意しました。

○地区会館の内装、外観に関するワークショップについて

- ・スケジュールを考えると、平成 32 年の年末くらいまでに内装や施設全体の使い方を確認できれば間に合うので、それまでに地域住民全体のワークショップを進めていく。
- ・ワークショップについては、1 月頃から始めることを目指す。
重要案件につき、WS 開催告知ビラ全戸配布、広報誌ひがしおかでの周知、東町会館現利用者への呼びかける事で合意しました。
より理解を深めるために、可能であればパース、立体模型も作成する事で合意しました。
また、外観に関しては近隣施設との調和、バランスも考慮する事としました。